

令和6年10月10日（更新版）

令和6年度地熱資源開発研修 募集要項（追加募集）

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

気候変動に伴う自然災害の増加等により、我が国においては、再生可能エネルギーに対する関心が更に高まっており、地熱資源についても開発の動きが活発化しています。一方、地熱分野を扱う大学等の教育機関や、地熱資源開発を体系的に学ぶための中長期間の研修等が減少したことなどから、今後の地熱資源開発を担う若手技術者を養成する機会創出が望まれています。

このため、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）では、我が国の地熱資源開発に携わる人材の育成を目的として「令和6年度地熱資源開発研修」を実施します。

ついては下記の通り受講生を募集しますので、研修参加を希望される方は**令和6年10月25日（金）までに**、下記申込書受付先にご応募ください。

記

1	研修内容	地質、地化学、物理探査、検層、掘削、貯留層工学、温泉科学、環境影響、地上設備、発電設備、経済性評価等の地熱開発に関する各分野の座学、及び地熱開発現場の見学
2	講師	政府系機関、大学、地熱資源開発関係企業等の学識経験者及び実務経験者
3	研修期間	令和6年11月4日（月・祝）～11月22日（金） ※「希望する講義のみ」、「1日単位」、「1週間単位」等の受講も可能。 「申込書」3.受講希望期間欄に希望日、希望期間等を記入して申込み。
4	カリキュラム	別添資料「カリキュラム」参照。
5	研修場所	第1、2週は東京、第3週は北海道での開催となります ■TKP 新橋カンファレンスセンター （東京都千代田区内幸町 1-3-1 幸ビルディング 10～16階） 最寄り駅：新橋駅、内幸町駅 ・令和6年11月4日（月・祝）～11月8日（金）（第1週） ・令和6年11月11日（月）～11月15日（金）（第2週） ■学校法人ジオパワー学園 掘削技術専門学校 （北海道白糠郡白糠町大楽毛 34-4） ・令和6年11月18日（月）～11月22日（金）（第3週）
6	宿泊場所	※東京、北海道の研修会場に宿泊施設は併設されておりません ・東京会場での開催時（第1、2週）は、各自でホテル等をお手配ください。 ・北海道会場での開催時（第3週）は、会場への送迎等の関係から、指定のホテルをこちらで手配させていただきます（※宿泊費は自己負担）

7	募集定員	50名程度 ※希望者が多数になる場合には、申込書の記載内容（受講期間等）により調整させていただきます。
8	対象者	地熱資源開発関連業務に従事する予定の方、または既に従事した経験を有する方
9	受講に必要な物	受講者全員：Excel 計算のできる PC 等 フィールドトリップ参加者：現場見学用の服、防寒具（安全靴、ヘルメットは不要）、動きやすい靴
10	受講料	無料。 ただし、受講料以外の次の費用等については、参加者にご負担頂きます。 ・帰赴任交通費（研修先までのタクシー乗車料金等含む）、 ・滞在費(宿泊、食事代等) ・通信運搬費、国内旅行保険代等 ※第3週（北海道）の「ホテルと研修会場間の送迎バス費用」、および「フィールドトリップのバス費用」は事務局が負担します。
11	申込期限	令和6年10月25日(金) 16:00
12	受講確定通知	令和6年10月29日(火)頃
13	申込書受付先 お問合せ先	受講希望者は、別添資料「申込書」に必要事項を記入の上、以下に申し込んで下さい。 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 地熱事業部 担当：飯野、森田、吉川 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 TEL：03-6758-8001 FAX：03-6758-8087 E-mail：koubo-h24025@jogmec.go.jp
14	事務局	本研修の実施に当たっては、その業務の一部を「株式会社エイチ・アイ・エス」に委託することとしています。受講確定通知後、研修参加者への各種連絡はエイチ・アイ・エスから差し上げます。

<注意事項>

- ▶ Excel 表計算を用いたデータ処理演習・経済性評価演習等がありますので、必要なソフトウェアが使えるノートパソコン等を持参してください。
- ▶ 第三週は北海道での研修となるため、十分な防寒対策をお願い致します。
- ▶ 参加に当たっては予め、インフルエンザ等の予防接種を推奨します。
- ▶ 今後の本研修の充実化等のため、全受講生を対象にアンケート等を実施します。

以上